ICT活用工事の積算・工事成績評定における措置について

本参考資料は令和7年度ICT活用工事実施要領（北海道独自運用含む）の要点を工種ごとにまとめたものです。
詳細については各実施要領をご確認ください。

R7.4.1

北海道開発局 技術管理課　技術調査スタッフ

ICT活用工事（土工（北海道独自））の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	―	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	―	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ（②）を用いてICT建機にて施工を実施	計上	精算
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理、品質管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	―	【土量1,000m3以上 砂防土工、河床等掘削】 提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1 【土量1,000m3未満】 計上なし
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	―	

工事成績評定

・【令和7年度までに完了する工事】①～④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
①～⑤の全てを実施：2点加点

・受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。

・施工現場の環境条件等により、ICT施工技術の活用が困難な場合は、受発注者協議により実施項目（①～⑤）の変更を行う。

ICT活用工事（作業土工（床掘工））の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	従来手法（選択）	起工測量において3次元測量データを取得、または従来手法での測量を実施する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ（②）を用いてICT建機にて施工を実施	－	計上
④	－	－	－	－
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①（作成していれば）、②）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ①（選択）、②、③、⑤の全てを実施：1点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（付帯構造物設置工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	－	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
　ICT土工等における関連工種とするため、ICT活用工事（土工）実施要領による。

ICT活用工事（法面工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	－	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ①、②、④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①、②、④、⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（擁壁工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	－	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ①、②、④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①、②、④、⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（地盤改良工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ（②）を用いてICT建機にて施工を実施	－	計上
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う	－	－ （補正係数を乗じない共通仮設費率、現場管理費率に含まれる）
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	
作業日当り標準作業量の補正			－	工法に応じた補正係数を乗じる。
単価表の補正			－	工法に応じてICT建設機械経費加算額を加算する。

工事成績評定
- ①～④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①～⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（基礎工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	－	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ①、②、④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①、②、④、⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（河川浚渫）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	―	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	―	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ（②）を用いてICT建機にて施工を実施	計上	精算
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	―	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	―	
浚渫能力の補正			―	バックホウ浚渫船1時間当たり浚渫量に補正係数1.05を乗じる。
単価表の補正			―	ICT建設機械経費加算額を加算する。

工事成績評定

・【令和7年度までに完了する工事】①～④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
①～⑤の全てを実施：2点加点

・受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。

・施工現場の環境条件等により、ICT施工技術の活用が困難な場合は、受発注者協議により実施項目（①～⑤）の変更を行う。

ICT活用工事（舗装工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

<table>
<tr><th></th><th>作業項目</th><th>作業内容</th><th colspan="2">当初設計</th><th colspan="2">変更設計</th></tr>
<tr><td>①</td><td>3次元起工測量</td><td>起工測量において3次元測量データを取得する</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2" rowspan="2">提出された見積の妥当性を確認した上で計上。
（見積の提出無き場合は未計上）</td></tr>
<tr><td>②</td><td>3次元設計データ作成</td><td>3次元測量データ（①）と発注図データを用いて
3次元設計データを作成する</td><td colspan="2">－</td></tr>
<tr><td rowspan="2">③</td><td rowspan="2">ICT建設機械による施工</td><td rowspan="2">3次元設計データ（②）を用いてICT建機にて施工を実施</td><td colspan="2">計上</td><td>精算</td><td>発注者指定型</td></tr>
<tr><td colspan="2">－</td><td>計上</td><td>施工者希望型</td></tr>
<tr><td>④</td><td>3次元出来形管理等の施工管理</td><td>工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う
※費用対象出来形管理方法に制限あり</td><td colspan="2">－</td><td colspan="2" rowspan="2">提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。
（見積の提出無き場合は未計上）

※補正係数
・共通仮設費率補正係数：1.2
・現場管理率補正係数：1.1</td></tr>
<tr><td>⑤</td><td>3次元データの納品</td><td>3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する</td><td colspan="2">－</td></tr>
</table>

工事成績評定
- ①～④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①～⑤の全てを実施：2点加点
- 発注者指定型、施工者希望Ⅰ型：受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- 施工者希望Ⅱ型：ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（舗装工（修繕工））の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	ICT建設機械による施工	3次元設計データ（②）を用いてICT建機にて施工を実施	－	計上
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う	－	－ （補正係数を乗じない共通仮設費率、現場管理費率に含まれる）
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	
単価表の補正			－	広報に応じてICT建設機械経費加算額を加算する。

工事成績評定
- ①～④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①～⑤の全てを実施：2点加点
- 施工者希望Ⅰ型：受注者の責により①～⑤の全面活用をしない場合は減点する。
- 施工者希望Ⅱ型：ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（構造物工（橋梁上部））の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	－	－	－	－
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う	－	－
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ②、④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ②、④、⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（構造物工（橋脚・橋台））の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	－	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ①、②、④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①、②、④、⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。

ICT活用工事（コンクリート堰堤工）の積算・工事成績評定における措置

国土交通省 北海道開発局

	作業項目	作業内容	当初設計	変更設計
①	3次元起工測量	起工測量において3次元測量データを取得する	－	提出された見積の妥当性を確認した上で計上。 （見積の提出無き場合は未計上）
②	3次元設計データ作成	3次元測量データ（①）と発注図データを用いて 3次元設計データを作成する	－	
③	－	－	－	－
④	3次元出来形管理等の施工管理	工事の施工管理においてICT機器を用いた出来形管理を行う ※費用対象出来形管理方法に制限あり	－	提出された見積額の妥当性を確認した上で、補正係数(※)で算出される費用と比較し、低い方を計上。 （見積の提出無き場合は未計上） ※補正係数 ・共通仮設費率補正係数：1.2 ・現場管理率補正係数：1.1
⑤	3次元データの納品	3次元データ（①、②、④）を工事完成図書として電子納品する	－	

工事成績評定
- ①、②、④のいずれか1つ以上を実施：1点加点
- ①、②、④、⑤の全てを実施：2点加点
- ICT活用未実施による減点はなし。